

佐野ふるさと特使に、歌舞伎役者・ 中村鷹之資さんが就任しました



市では「佐野の魅力・よさ・実力」などを、市の内外へ広く発信してくださる方を「佐野ふるさと特使」として委嘱しています。

この4月から、人間国宝であられた歌舞伎役者・五代目中村富十郎さんの長男である中村鷹之資さんを特使として委嘱しました。

委嘱状の交付に際し、鷹之資さんは「佐野市は母の故郷であり、しばしば訪れていた第2の故郷ともいえるべきところです。これから佐野市の良さをどんどん発信していきます」と話してくれました。

鷹之資さんは昨年11月には明治座で「玉兔」に出演するなどご活躍されています。佐野ふるさと特使・中村鷹之資さんをぜひ応援してください。

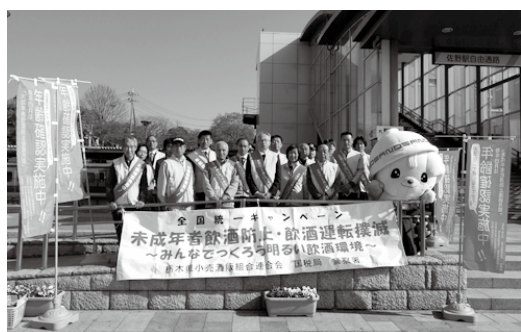
上羽田町で こども神楽



4月12日、上羽田町の上羽田八幡宮で、子ども神楽の発表会が行われました。

江戸時代から320年にわたり伝承されてきた市の無形文化財「上羽田八幡宮神楽」。上羽田八幡宮子ども神楽は、その後継者育成と子どもの情操教育を目的として、昭和59年に発足しました。

伝統ある神楽を学ぶことができるのは、地元吾妻小学校の新6年生だけで、児童たちは3月20日～4月10日までの20日間にわたる猛練習を重ね、本番に挑みました。



未成年者飲酒防止 キャンペーン

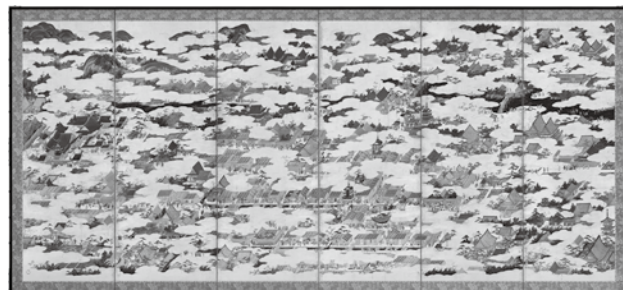
4月16日朝、佐野駅で佐野小売酒販組合の皆さんが「未成年者飲酒防止等キャンペーン」を行いました。

このキャンペーンは、4月の「未成年者飲酒防止強調月間」に合わせて行われており、組合員の皆さんや佐野警察署の方が「お酒は20歳から」と未成年者に飲酒しないよう呼びかけました。

この呼びかけにはさのまるも参加。さのまるは大きな体を揺らしながら、通りがかる皆さんに啓発のチラシやポケットティッシュなどを配布しました。



企画展「上杉謙信がやってきた」



上杉本洛中洛外図屏風（右隻）

郷土博物館では、佐野市制10周年記念・唐沢山城跡国指定史跡化記念・第62回企画展「上杉謙信がやってきた」を開催しています。

国指定史跡化に伴う調査結果をご紹介した前期を終え、4月29日からの後期では唐沢山城を攻めた上杉謙信のゆかりの品の数々、国宝である「上杉家文書 上杉景虎（謙信）願文」（米沢市上杉博物館）などを展示します。

謙信はなぜ何回も唐沢山城に攻めてきたのか。そして、それに対抗した城主・佐野氏と唐沢山城についてご紹介します。ぜひ見学にお越しください。



上杉謙信公

秋山川で清掃活動を実施



3月21日、朱雀大橋、堀米大橋、天神大橋間の秋山川両側で清掃活動が行われました。

清掃活動には、菊川町会など周辺町会の愛犬家の皆さんや佐野高校サッカー部の生徒など（総勢40人）が参加し、ゴミや犬のふん拾いを行いました。

佐野市では昨年11月、犬のふん害やゴミのポイ捨てを規制する「きれいなまちづくり推進条例」ができました。

ふんやゴミのないきれいなまちが望まれています。今後とも、多くの皆さんに環境を守る取り組みへの協力と環境保全への意識を高めていただくことが期待されています。

佐野駅前で、さまざまなイベントが開催されています



↑ 毎月第3土曜日開催の
ばるぼーとマルシェ

← ばるぼーとスプリング
フェスタ2015

3月21日、佐野駅周辺と駅前通りで「ばるぼーとスプリングフェスタ2015」が開催されました。

昨年に引き続き開催された同フェスタ。今年は、子どもに大人気のカブトムシ型乗り物『ヘラクレス』や気球口ポットが登場し、会場を盛り上げました。

このイベントを主催した佐野駅前交流プラザ「ばるぼーと」では、こうしたイベントのほか、毎月第3土曜日の午前9時から午後2時の間に「ばるぼーとマルシェ」を開催しており、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。

皆さんもぜひ遊びにいらしてください。

人口減少対策検討委員会ワーキンググループ

市では人口減少問題に取り組むため、市役所の20代と30代の職員24人がワーキンググループを構成し、検討を重ねています。

3月25日にはその3回目の全体会議が行われ、これまで検討・洗い出しをしてきた課題・方向性の集約が行われました。

これまでの会議で4つのグループに分かれて検討されており、この日発表された各グループのテーマは「労働者人口の増加」「中山間地域への定住促進」「雇用の創出」「若者人口の増加」の4つ。

各グループの発表を終えた後は、参加者全員で各グループのテーマ・検討内容への採点を行いました。

このワーキンググループは7月まで検討を重ね、人口減少対策検討委員会に報告する予定です。

